

“大切な花”を咲かせよう



子どもの発達支援施設
つつじが崎学園

保育所等訪問支援通信NO. 29-2

少しずつ夏の気配を感じるような暑さと日差しに変わってきましたね。梅雨が明けると子ども達が大好きなプール遊びが本格的に始まる園も多いのではないのでしょうか？そこで、今回のテーマは“プール・水遊びが苦手な子どもへのアプローチ方法”です。少しずつ楽しめるようになるアプローチの仕方を一緒に考えていきましょう！



「どうして水遊びが嫌いなのか原因を見つけよう！」

水遊びを嫌がる子どもは“冷たい水が嫌い”“シャワーが怖い”“水が掛かるのが嫌”等、水遊びが嫌いな理由が必ずあります。その原因を見つけるとアプローチの仕方が見えてきます。

顔に水が掛かることが苦手



☆まずは濡れタオルで顔を拭く練習をしてみよう！

顔に水が掛かる感覚を苦手とする子どももいます。まずは濡れタオルで顔を拭くことから始めてみましょう。次に濡れた手を顔に当てる、手で水を掬って顔を洗うと徐々に段階を上げて練習していきます。又、顔を洗うには一定の時間息を止めることも必要です。顔を洗う真似をしながら、息を止める練習もしていくと良いでしょう。

☆顔に水が掛からない安心して遊べる環境を作る

お友達が激しく遊んでいる中に入ることはとても勇気がいることです。顔に水が掛からない静かに入れる場所を作ることで、怖がらずにすんなりプールに入れるようになることもあります。また、洗濯遊びや玩具を浮かべて遊ぶ等落ち着いた遊べるコーナーも設け、顔に水が掛からない遊びで楽しさを味わえる環境を作ると良いでしょう。

☆顔が濡れた時の対処法を知っておこう！

近くにタオルを置いておく等、顔が濡れた時はどうしたら良いかを子どもと一緒に確認しておくとう安心して活動に臨めます。

シャワーが怖い



☆体に当たると痛い！？

感覚過敏のあるお子さんの中にはシャワーの水圧が私たちが想像する以上に痛く感じている場合があります。シャワーを弱めたり、ラッシュガードを着る等して体への刺激を軽減することで受け入れられることもあります。また、シャワーへの抵抗が強い場合には、玩具のジョウロ等で遊びながら水に触れる経験を積んでいくと良いでしょう。

☆目を閉じるタイミングや呼吸のコントロールが出来るかな？

シャワーを頭から掛けている時は息を止め、目を閉じていなければいけません。いつまでしていなければならないのか、いつからするのか分からないと不安なので、流す時間を数えるようにすると良いでしょう。初めは5秒以下から始め、慣れてきた所で徐々に時間を延ばして練習していきましょう。

一番大切なことは・・・「楽しい経験をたくさん積む」

“慣れればできる”と思いがちですが、嫌がることを繰り返し経験させることは恐怖心を高める危険性があります。恐怖心を拭き去ることは簡単ではありません。安心出来る環境の中で、子どもが楽しんで取り組めることを見つけていきましょう。楽しい経験を積みながら、「苦手」が少しでも「好き」「楽しい」と感じられるように変えていきたいですね。

参考書籍：苦手な「できる」にかわる！発達に気になる子への生活動作の教え方 編著@鴨下賢一 著@立石加奈子・中島そのみ



おしらせ

6月15日(木)15時より“メンタルケアが必要な保護者への支援”の職員研修会を当園で行います。

講師は心理臨床オフィス・ルー工代表の深沢孝之氏です。参加費は500円です。是非ご参加ください。右記の連絡先に申し込みをお願い致します。



児童発達支援センター つつじが崎学園
保育所等訪問支援
〒400-0013 山梨県甲府市岩窪町614番地
Tel 055-251-7678
Fax 055-251-7679
Mail naito@tutuji.or.jp
担当：吉岡かよ 内藤知子 山本かほり

